

父親支援について学び、 家族のメンタルヘルスを支えよう

男性の育児休暇・産後パパ育休を推進することが義務化され、イクメンプロジェクトの調査によると大手企業の男性育休取得率は2023年46.2%という報告がある。しかし、一方で成育基本法の基本方針に「父親のうつ」や「父親の孤立」を防ぐことが重要であること、父親も支援の対象であることが明記されました。子育て家族をケアの対象としている助産師・保健師・看護師は、家族のメンタルヘルスを支えられるよう、父親支援を学びましょう！

日時：令和6年12月21日（土）10:00～11:40（オンラインのみ）

対象：妊産褥婦に携わる医療者

参加費：無料

プログラム

司会：公益社団法人日本看護協会
助産師職能委員 太田加代

10:00～	開会のあいさつ	兵庫県看護協会助産師職能委員長	竹崎裕子
10:05～	講演「助産師に期待する妊娠期を通しての父親支援」 ファザーリングジャパン理事 大阪教育大学教育学部教員養成課程家政教育講座教授		小崎恭弘先生
	質疑応答		
11:30～	アンケート入力		
11:35	閉会のあいさつ	和歌山県看護協会 助産師職能委員長	寺本りか
11:40	終了		

*本研修は、アドバンス助産師更新の要件「選択研修」として活用できます。

【申込先】

締切り：12/18(水)

パソコンの方は、下記 URL を入力しお申込ください。

<https://form.hna.or.jp/form/kinkijyosan>

モバイルの方は、右側 QR コードを読み取りお申込ください。



主催：公益社団法人兵庫県看護協会（代表） 公益社団法人大阪府看護協会
公益社団法人奈良県看護協会 公益社団法人京都府看護協会
公益社団法人和歌山県看護協会 公益社団法人滋賀県看護協会